

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	井戸尻を元気に！ 地域を元気に！		
事業主体 (連絡先)	井戸尻応援団 諏訪郡富士見町境 7083		
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	857,761 円	(うち支援金：)	619,000 円)

事業内容

- ①シンボルマーク活用事業。
 - a、オリジナルクリアファイル200部作成：イベント参加者等に配布
 - b、マグネットステッカー100部作成：応援団メンバー、考古館職員、役場公用車、その他関連団体等の車に貼ってもらう
 - c、アイロンプリントシール500マーク作成：イベント参加者、関係機関に配布。複数枚配布し各自Tシャツなどにアイロンでマークを張り付けてもらった。
- ②ポストカード郵送事業：ポストカード作成し郵送 150枚
- 2、復元住居屋根の修復事業
 - ①イベントPR用チラシ作製 500部
 - ②屋根の葺き替えについて講習会。
- ③茅の下ごしらえボランティア3回、いずれも場所：井戸尻史跡公園復元住居前 講師：堀尾暁彦氏



【萱下ごしらえボランティアの様子】

事業効果

井戸尻をPRする事業では、クリアファイルや車やマグネットステッカー、アイロンプリントシールを配布することによって、多くの人々の目につく宣伝効果が得られた。自らが使うことに加え、知人家族などに配布することで広がった。ポストカードはイベントのお知らせに加え、魅力あるカードにしたことで受け取った人が他の人にも紹介してもらう資料となった。

茅葺屋根の葺き替え事業では、茅葺屋根の葺き替え講習会、茅の取り扱い方の実際、葺き替え作業見学により、茅葺屋根についての理解を深め、参加者が葺き替えの初歩的な作業を身に着けることができた。また、作業に参加したり子供たちが屋根に登る機会を作った事で、復元家屋に対する愛着がわき井戸尻を訪れる機会にもつながった。

今後の取り組み

- ※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
- ・今年度、シンボルマークを広めるために、アイロンプリントやクリアファイル、マグネットシートなどを制作し普及に努めたが、評価が高かったため、来年以降は販売を視野に入れ会の継続活動のための資金にしたい。
- ・古代蓮を咲かせるための活動、土器作り&野焼きや縄文夜話などの参加者からの評価の高い事業は継続して行っていきたいが、加えて新たなメニューにも取り組んでいきたい

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ① 地元住民が井戸尻を地域の宝として再認識
- ② 考古館とは異なった視点での井戸尻の魅力を発信
- ③ 復元家屋の葺き替え等の作業などのイベントを通じて的続的に関わってくれる人を増やす。

※自己評価 【 A 】

【理由】

◆クリアファイルのデザインを使って町役場有志が音頭を取りポロシャツを作るなど町との連携が深り、高原リゾートとの共同開催事業にも着手できた。◆今後、会を継続していく為の基盤を作ることができた

(別記様式第12号) (第3の8関係)